

産業保健スタッフのためのダブルケア研修会 企画書

■概要
<日時> 2025年2月15日(土曜日) 13時00分～16時20分 <会場> 帝京大学 霞が関キャンパス (東京都千代田区平河町 2-16-1 平河町森タワー9階)
■目的
晩婚・晩産化と高齢化が同時進行する中、ダブルケアを担う人(ダブルケアラー)の数は約25万3千人といわれており、「業務量や労働時間を減らした」「離職した」など、ダブルケアによって就業に影響が出る人もいる(内閣府委託調査「平成27年度 育児と介護のダブルケアの実態に関する調査」より)。産業保健スタッフは、このような現状を理解し、離職予防、労働者の健康障害を防止し、労働者ひとりひとりが充実した就労生活が送れるように支援することが求められている。一方、産業看護職(保健師・看護師)を取り巻く職場環境は、いわゆるひとり職場が多く、他部署との連携は不可欠であるが、ダブルケアラーの現状は、ここに異なることから、個別支援は難しく、課題認識も高い。そこで、ダブルケアに関する基礎知識および育児介護休業法等改正に伴う対応すべきポイントを理解し、産業保健スタッフとしてどう支援すべきか、事例検討を行い、現場に応用できることを目的とする。
■具体的な内容
1. 挨拶(企画意図を含め)(5分) 2. 育児と介護のダブルケアに関する基礎知識(45分) 講師:寺田由紀子 帝京大学助産学専攻 講師 3. 育児介護休業法等改正に伴うポイントと産業保健スタッフの役割(45分) 講師:永田有希子 キューブ・インテグレーション株式会社 公認心理士 4. 事例検討(まとめ含)(80分) ファシリテーター:紅谷悠貴・磨田百合子 5. 挨拶(5分)
■対象
企業で働く産業保健スタッフ30名程度 (産業保健に関心ある産業看護職も可とする)
■予算
参加費:2,000円 (会場費)
■申込方法
https://forms.office.com/r/hKuZAWcErt
■企画メンバー
医療専門職による育児と介護のダブルケアラー支援団体 DC NETWORK 代表:寺田由紀子(帝京大学助産学専攻 講師) 産業保健チーム: 磨田百合子(帝京大学大学院公衆衛生学研究科 非常勤講師/保健師) 紅谷 悠貴(帝京大学大学院公衆衛生学研究科 研究員/保健師) 永田有希子(キューブ・インテグレーション株式会社 公認心理士)
■問合せ先
DC NETWORK 産業保健チーム・産業保健交流会 世話人 メールアドレス:oh20220501@gmail.com